

裁判所事務官

(1)面接の概要・内容

面接日：2025年7月3日（木）

受験先：裁判所事務官一般職、特別区人事院面接、国家一般職人事院面接

面接官（何名いたか等）：全て3名

面接時間：裁判所→10:40～11:10、特別区→12:05～12:30、国家一般職→13:00～13:15

面接を行った場所：裁判所→中会議室くらいの大きさで、距離は3～4mくらいでした。特別区→ホテルの部屋で距離は2mくらい

裁判所事務官一般職

①：はじめに名前と生年月日を教えてください。

私：名前は〇〇です。生年月日は〇〇です。

①：アイスブレイクとして趣味について質問します。キックボクシングはなぜ始めたのですか？

私：大学の友達に誘われて始めました。

①：試合に出たことはありますか？

私：まだないです。いつか出てみたいです。

①：就職したらまたジムに通うのですか？

私：はい、通う予定です。

②：なぜ近畿から関東か？

私：（個人の都合）

②：研修では評価されていたが、入社後3ヶ月で辞めた理由は？

私：体調不良が原因です。仕事の効率が悪く休日に仕事をする事が多く、リフレッシュする時間がなかったため、体調不良に陥ってしまいました。

②：体調不良について詳しく。

私：眠れない日々が多くありました。

②：体調不良になることを防ぐために、何をすれば良かったと思うか？

私：一週間に一度必ずリフレッシュをする時間を設ければよかったと思います。

②：チームで取り組んだことについて、反対意見はなかったか？

私：自由時間が減るとの反対意見がありました。そのため、毎日の昼休みを使用するのではなく、回数を減らした提案をしました。また、新チームでたてた県大会で表彰台に立つことという目標を再確認したところ納得してくれました。

②：主将は推薦か？ 立候補か？

私：顧問の先生と、一つ上のキャプテンから推薦していただきました。

②：なぜ自分は主将に選ばれたと思うか？

私：周りの部員と一番コミュニケーションを取っていたからだと思います。

②：周りからどんな人と言われるか？

私：相談しやすいと言われる。

②：なぜそう思う？

私：相談される相手によって共感をするか、具体的な解決策を提案するかその人に合った方法に変えているからだと思います。

③：併願状況について。

私：関東農政局と特別区を併願しています。

③：勤務希望地について変わりはないか？

私：はい、変わりないです。

③：希望地以外の配属になったらどうするか？

私：裁判所が第一志望なので、採用していただいたらどこでも行きます。

◎：交通事故や物損事故を起こした経験はあるか？

私：ありません。

④：最後に質問はあるか？

私：書記官試験に合格した後どのようにキャリアを積まれたのか教えていただきたいです。

④⑤⑥：（それぞれ答える。）

④：本日はありがとうございました。

私：ありがとうございました。

特別区人事委員会面接

④：それでは面接を始めます。よろしくお願いたします。

私：よろしくお願いたします。

④：緊張していますか？

私：少し緊張しています。

④：リラックスして答えてくださいね。

私：はい。ありがとうございます。

④：それではまず職歴についてお聞きします。なぜ前々職を辞めたのですか？

私：体調不良が原因です。仕事の効率が悪く休日に仕事をする事が多く、リフレッシュする時間がなかったため、体調不良に陥ってしまいました。

④：なぜ前職を辞めたのですか？

私：4月から公務員試験が始まったためです。会計年度職員として採用いただく際に、4月から筆記試験が始まるため、9月から3月までの契約にいただいていたいました。

④：前々職を辞めた後工夫していることはありますか？

私：必ずリフレッシュする機会を設けるようにしています。前職では、公務員試験の勉強をしながら働いていました。その際に勉強が辛くなってきたら必ずカラオケに行くようにしていました。その結果、仕事は1回しか休まずに勤務できました。

④：リフレッシュの方法は何かありますか？

私：カラオケと体を動かすことです。

④：東京に知り合いはいますか？

私：います。

⑤：陸上部でキャプテンをされていたとのことですが、立候補したのですか？

私：顧問の先生と、一つ上のキャプテンから推薦していただきました。

⑤：キャプテンに選ばれたとき周りの部員はどんな反応でしたか？

私：〇〇（私の名前）になると思ったと言ってくれました。

⑤：リレーのバトンパスで説得したときに反対意見はありましたか？

私：自由時間が減るとの反対意見がありました。そのため、毎日の昼休みを使用するのではなく、回数を減らした提案をしました。また、新チームでたてた県大会で表彰台に立つことという目標を再確認したところ納得してくれました。

⑤：部は強かったですか？

私：はい、県大会で入賞できる実力はありました。

⑥：防災についての仕事に取り組みたいとのことですが、防災関係の業務は覚えることが大変です。頑張れそうですか？

私：はい、頑張ります！

⑥：最近特別区で問題になっていることとして何か気になることはありますか？

私：歩道橋の老朽化について気になっています。

⑥：歩道橋について取り壊すべき意見と補修工事すべきとの意見がありますが、〇〇さんはどちらをお考えですか？

私：私は補修工事すべきであると考えています。歩道橋を渡ることで歩行者が安全に横断できるからです。

◎：以上で面接を終わります。ありがとうございました。

私：ありがとうございました。

国家一般職人事院面接

①：それでは面接を始めます。よろしくお願いいたします。

私：よろしくお願いいたします。

①：緊張していますか？

私：少し緊張しています。

①：リラックスして答えてください。

私：はい。ありがとうございます。

①：それではまず職歴についてお聞きします。なぜ前々職を辞めたのですか？

私：体調不良が原因です。仕事の効率が悪く休日に仕事をすることが多く、リフレッシュする時間がなかったため、体調不良に陥ってしまいました。

①：前々職を辞めた後工夫していることはありますか？

私：必ずリフレッシュする機会を設けるようにしています。前職では、公務員試験の勉強をしながら働いていました。その際に勉強が辛くなってきたら必ずカラオケに行くようにしていました。その結果、仕事は1回しか休まずに勤務できました。

②：趣味は今も続けているのですか？

私：はい、続けています。現在ジムには通えていないので、自宅でYouTubeを見ながら体を動かしています。

②：国家一般職で併願しているところはありますか？

私：ありません。関東農政局だけです。

②：ほかの官庁の説明会も受けたいうで関東農政局に絞りましたか？

私：はい、労働局や法務局などの説明会に参加したうで関東農政局に絞りました。

②：関東農政局を志望した理由は何ですか？

私：次世代の農業従事者を増やすことと、食品ロス問題について取り組みたいと考えたからです。

◎：食品ロス問題について意識していることはありますか？

私：祖母の飲食店で働いていますが、食べきりの呼びかけや持ち帰りポスターを掲示しています。

◎：衛生的に持ち帰れない食品についてはどうしていますか？

私：衛生的に持ち帰れない食品についてはまだ対処できていません。

◎：転勤がありますが大丈夫ですか？

私：はい、大丈夫です。転勤をすることで様々な地域で経験を積んでいきたいです。

◎：面接はこれで終わります。ありがとうございました。

私：ありがとうございました。

(2)面接を終えての印象

裁判所と特別区は和やかで話しやすかったため、素の自分で面接を受けることができました。裁判所と特別区は私が話した内容について相槌を打ってくださったり、笑ってくださったりしました。

国家一般職は少し緊張感のある雰囲気でした。私が話した内容について相槌を打ってくださったり、笑ってくださったりすることが少なかったです。そのため緊張してしまい、少し言葉に詰まることもありましたが、笑顔で話すことを心掛けていました。

(3)模擬面接と比べて実際はどうだったか

裁判所、特別区は模擬面接より和やかな雰囲気だったため、話しやすかったです。国家一般職は模擬面接より少し緊張感のある雰囲気でした。オンライン面接よりも対面の方が目線や表情、雰囲気が伝わるため話しやすかったです。そのため、苦手とするオンラインで面接練習ができて良かったです。オンライン面接では、入退室の練習ができていなかったため、事前に練習したうで臨みました。質問内容については、模擬面接で聞いていただいたことが実際にも聞いていただくが多かったため、自信をもって答えることができました。

(4)他受験生の印象

裁判所は他の受験者とお会いすることがなかったです。特別区は、同じ時間に受けた方が100人くらいいました。話す機会はありませんでしたが、待機時間中3分プレゼンテーションの確認をされている方が多かったです。

国家一般職は同じ時間帯に集合した方が150~200人くらいいました。国家一般職についても、他の受験生と話す機会はありませんでした。待機時間中は面接カードの確認をされている方や、リラックスして過ごされている方等、受験者によって過ごし方がさまざまでした。

(5)受験生へのアドバイス

裁判所は服装指定について記載がなかったため、ジャケットを着用しましたが面接のはじめに暑かったらジャケットを脱いでもいいですよと言ってくださいました。国家一般職については、駅から西原総合研修所までの行き方が難しく、受験生の多くが会場にたどり着くまで時間がかかっていました。とにかく笑顔で素直に話すこと、面接官がお話しされているときに相槌を打つことを心掛けると印象がよいと思います！（自分を偽らないことが大事です！）